## 令和7年度入学試験問題

数 学

(数学 I · II · III · A · B · C)

## 注 意 事 項

- 1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
- 3. 解答用紙は5枚です。
- 4. 問題番号の印刷してある解答用紙に解答しなさい。
- 5. 各解答用紙には、受験番号を記入する欄がそれぞれ<u>2箇所</u>あります。すべて 記入しなさい。
- 6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

1 条件

$$x \ge 0$$
,  $y \ge 0$ ,  $x^2 + y^2 \le 2025$ ,  $x \ge 3y$ 

をすべて満たす整数の組(x, y)は何組あるか答えよ。なお、必要に応じて下表を用いよ。

| n  | $n^2$ | n  | $n^2$ |
|----|-------|----|-------|
| 11 | 121   | 19 | 361   |
| 12 | 144   | 20 | 400   |
| 13 | 169   | 21 | 441   |
| 14 | 196   | 41 | 1681  |
| 15 | 225   | 42 | 1764  |
| 16 | 256   | 43 | 1849  |
| 17 | 289   | 44 | 1936  |
| 18 | 324   | 45 | 2025  |

2 以下の問いに答えよ。

問1 実数 x, y に対し, 不等式

$$|x| + |y| \ge |x + y|$$

が成り立つことを示せ。また、等号が成り立つ条件を求めよ。

問 2 n を 2 以上の自然数とする。n 個の実数  $x_1, x_2, \dots, x_n$  に対し、不等式

$$|x_1| + |x_2| + \cdots + |x_n| \ge |x_1 + x_2 + \cdots + |x_n|$$

が成り立つことを、<u>数学的帰納法</u>を用いて示せ。なお、等号が成り立つ条件 は答えなくてよい。

## **3** 正の実数 *x* に対し, *z* は

$$z^2 = x + i$$

を満たす複素数とする。zの偏角を $\theta$ とするとき、以下の問いに答えよ。ただし、i は虚数単位を表す。

問 1 
$$\theta = \frac{\pi}{6}$$
 のとき、 $x$  の値を求めよ。

間 2  $x = \sqrt{3}$  のとき、 $\theta$  の値を  $0 \le \theta < 2\pi$  の範囲ですべて求めよ。

## 問 3 実数 x が

$$\frac{1}{\sqrt{3}} \le x < \sqrt{3}$$

を満たすとき、 $\theta$  のとりうる値の範囲を求めよ。ただし、 $0 \le \theta < 2\pi$  とする。

pを正の実数とする。x > 0 において

$$y = \frac{p}{x^p}$$

と表される曲線を C とするとき、以下の問いに答えよ。

- 問 1 曲線 C上の点(1, p)における接線の方程式を求めよ。また、この接線がx軸と交わる点を(s, 0)とするとき、sをpの式で表せ。
- 問 2 問 1 の s に対して、積分

$$S(p) = \int_{1}^{s} \frac{p}{x^{p}} dx$$

をpのみを用いた式で表せ。

問 3 極限

$$\lim_{p\to\infty} S(p)$$

を求めよ。ただし、自然対数の底 e が、

$$e = \lim_{x \to \infty} \left( 1 + \frac{1}{x} \right)^x$$

で与えられることを用いてよい。

5 x > 0 で定義された連続関数

$$f(x) = (2 - x)\log x, \ g(x) = f'(x)$$

について、以下の問いに答えよ。

問 1 g'(x) < 0 であることを示せ。

問 2 方程式 g(x) = 0 はただ 1 つの解  $x = \alpha$  をもち、  $1 < \alpha < 2$  であることを示せ。

問 3 曲線 y = f(x) と x 軸によって囲まれた部分の面積を求めよ。